



那珂川町馬頭広重美術館

NAKAGAWA-MACHI
BATO HIROSHIGE MUSEUM OF ART

プレスリリース 2023.5

那珂川町馬頭広重美術館 展覧会のご案内

ならびに関連記事掲載・番組でのご紹介のお願い



入江明日香《黒雲妖炎龍図》(部分)2023、丸沼芸術の森蔵

入江明日香展

- 浮世絵が結ぶ、江戸と現代 -

2023. 8/26(土) ▶ 11/12(日)

※10/2~10/5は一部展示替えのため休館

展覧会名：入江明日香展—浮世絵が結ぶ江戸と現代—

会期：2023. 8/26(土) ~11/12(日) ※10/2~10/5は一部展示替えのため休館

展覧会概要(2~3ページ参照)

広報用画像(4ページ参照)

つきましては、ぜひ貴媒体にて本展を広くご紹介いただきますようお願い申し上げます。

展覧会概要

展覧会名 入江明日香展 ー浮世絵が結ぶ江戸と現代ー

会期 2023年8月26日(土)ー11月12日(日)

※10/2~10/5は一部展示替えのため休館

開館時間 9:30ー17:00 (入館は16:30まで)

休館日 月曜日、9月19日、10月10日
(9月18日、10月9日は臨時開館)

主催 那珂川町馬頭広重美術館

後援 下野新聞社、産経新聞社宇都宮支局、朝日新聞宇都宮総局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞東京本社宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社エフエム栃木、株式会社栃木放送

企画協力 株式会社アート・ベンチャー・オフィスショウ、丸沼芸術の森

観覧料 大人 | 700円 (630円)
高・大学生 | 400円 (360円)

()内は、20名以上の団体料金。

中学生以下は無料。障がい者手帳をお持ちの方・付き添いの方1名は半額。

観覧券で第一展示室の展覧会もご覧になれます。

展示内容 本展ために制作された最新作2点を含む《黒雲妖炎龍図》や《江戸淡墨大桜》など約30点、歌川広重や尾形月耕など当館蔵の浮世絵作品を約50点(会期中入れ替えあり)を併せて展示。

展覧会概要(約450字)

江戸の人気役者や歴史上の人物、観光スポットなどが描かれた浮世絵。そのジャンルは多岐にわたり、当時の庶民の娯楽品のひとつとして親しまれました。現在、浮世絵は江戸時代から受け継がれてきた日本文化を辿る美術作品として多くの人々に鑑賞されていますが、浮世絵に描かれた日本文化は江戸時代で途切れることなく、現代の暮らしや社会にも影響を及ぼしています。

若手中堅アーティストとして活躍する銅版画家・入江明日香は、従来の版画表現にとどまらず、和紙に刷った銅版画を切り抜くなどしてコラージュし、そこに水彩や箔、胡粉による描写を加えながら制作しています。鮮明な青色のぼかしや渦巻く波など、浮世絵の絵画表現を連想させるもの多く、現代と過去を織り交ぜるかのような神秘的な世界を一枚の作品の中に創り上げています。

本展覧会では、美術史に位置付けられた江戸の浮世絵と現代を生きるアーティストの作品を展示し、浮世絵が入江明日香の制作に及ぼした影響と、入江明日香の現代的視点で見る歌川広重などの浮世絵の魅力など、この二つの視点から江戸と現代を結び付けながら入江明日香の世界をご紹介します。

広報文①(約80字)

現代と過去を織り交ぜるかのような神秘的な世界を創り上げる入江明日香の作品を、その制作に影響を与えた浮世絵と同時に展示する、江戸と現代のコラボレーション。

広報文②(約110字)

風景や役者など多くのジャンルを広げ、多くの江戸庶民に流行した浮世絵。現代と過去を織り交ぜるかのような神秘的な世界を創り上げる入江明日香。浮世絵が結んだ、江戸と現代のアートの同時に展示する。

広報文③(約200字)

江戸の浮世絵と、現代作家のコラボレーション。入江明日香(1980～)は銅版画コラージュ、水彩描写による独特な技法で制作するアーティストです。鮮明な青色のぼかしや渦巻く波の描写など浮世絵を連想させるものが多く、現代と過去を織り交ぜるかのような神秘的な世界を一枚の作品の中に創り上げています。本展覧会では、その制作に影響を与えた江戸の浮世絵も同時に展示し、江戸と現代を結び付けながら入江明日香の世界をご紹介します。

会期中のイベント

●アーティストトーク

講師：入江明日香氏

日時：8月26日(土)13:30～、10月7日(土)13:30～(約45分)

会場：第一展示室、第二展示室 ※要観覧料

●展覧会講座：江戸の絵の具、現在の絵の具

講師：山内 れい(那珂川町馬頭広重美術館学芸員)

日時：9月16日(土)13:30～15:00

会場：視聴覚研修室

定員：20名

●入江明日香展エンディングトーク

講師：大野 正勝(那珂川町馬頭広重美術館館長)

日時：11月11日(土)13:30～15:00

会場：視聴覚研修室、その他館内

定員：20名 ※要観覧料



入江明日香《廣目天》2016 丸沼芸術の森蔵

※イベント詳細、申し込方法等につきましては当館HPをご覧ください。お問い合わせください。

●本展覧会に関するお問い合わせ

那珂川町馬頭広重美術館
〒324-0613 栃木県那須郡那珂川町馬頭116-9
TEL:0287-92-1199/FAX:0287-92-7177
mail:hpmaster@hiroshige.bato.tochigi.jp
担当学芸員：山内 れい(やまうち れい)

画像資料(デジタルデータ)提供について

画像資料(デジタルデータ)をご提供できます。展覧会担当までお問い合わせください。
なお、送付に時間を要する場合がございますのでお早めにご連絡ください。
※提供した画像資料は、本店の告知以外に使用しないでください。

●掲載についての注意事項(著作権)

1. 画像は必ず全面で使用し、トリミング、文字のせ、その他データ改変はしないでください。
2. 掲載にあたり、作家名・作品名・制作年・所蔵者およびクレジットの表記をお願いいたします。
3. 必ず校正を担当までお送りくださいますようお願い申し上げます。

●掲載誌ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただいた際には、お手数ですが必ず掲載誌を2部、展覧会担当にお送りくださいますよう、お願い申し上げます。

作品画像一覧

1. 歌川広重《東海道五拾三次之内 日本橋 朝の景》1833 大判錦絵 那珂川町馬頭広重美術館蔵
2. 入江明日香《平成 東海道五拾三次之内：日本橋(入江明日香オリジナル)》2015 ミクストメディア 丸沼芸術の森蔵
3. 尾形月耕《美人花鏡 秋海棠》1893 大判錦絵 那珂川町馬頭広重美術館蔵
4. 入江明日香《江戸淡墨大桜》2016 ミクストメディア 丸沼芸術の森蔵
5. 入江明日香《廣目天》2016 ミクストメディア 丸沼芸術の森蔵
6. 入江明日香《黒雲妖炎龍図》2023 ミクストメディア 丸沼芸術の森蔵



1



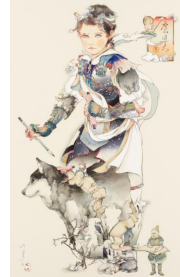
2



3



4



5



6